和泉市新庁舎ニュース Vol. 4

平成２９年８月１８日　政策企画室庁舎整備担当

第５回　テーマ「新庁舎の各フロア内の配置」

第５回市民ワークショップを平成２９年６月１０日に開催し、３２名の方々にご参加いただき、前回テーマである**「新庁舎に必要な機能・施設の配置」**について、どれくらいの規模でどの場所に配置するか、より詳細に検討していただきました。

第６回　テーマ「みんなで考える新庁舎の発表」

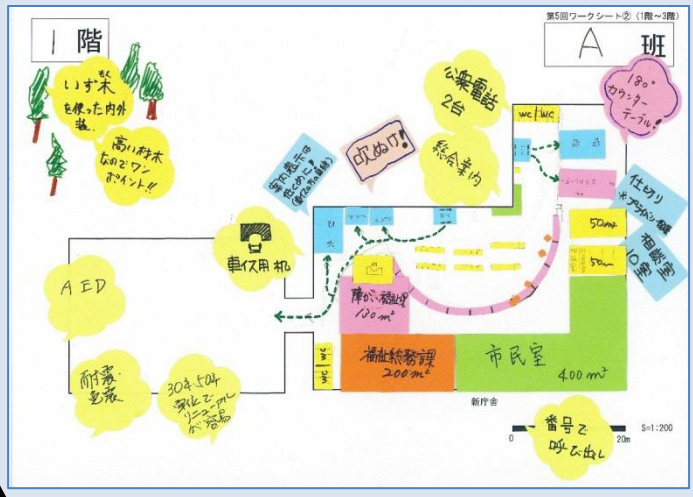
最終回である第６回市民ワークショップを平成２９年６月２４日に開催し、３６名の名の方々にご参加いただき、これまで皆様に考えていただいた新庁舎について、各班の代表の方から発表いただきました。各班の発表内容については、以下のとおりです。

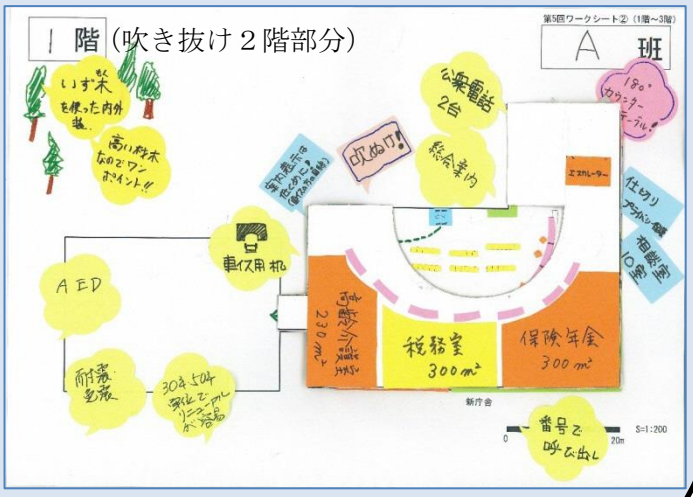
A班

コンセプト「100 年後を見据え、利便性を追求し、シンプルに！！」

１階■市民の方がよく利用する部署（福祉関係）を１階・２階にまとめた。
■総合カウンターで目的の窓口へ迷わず行けるように案内する。
■窓口での呼び出しは番号札を使ってプライバシーに配慮する。
■込み入った話などができる個室の相談室を 10 個くらい設ける。
■車いすが入るようなテーブルを設置する。

２階■吹き抜けで、１階からも見えて視野が広いところが魅力。
■市民の出入りや対応がしやすいように、高齢介護室を含めてこのエリアに固めた。
■市民のプライバシーの保護と、職員が市民の顔を見ながらきちんと対応できることを重視した。





B 班

コンセプト「３Ｓ（スリーエス）：“スピーディー”、“シンプル”、“親切”」

１階

■市民生活に直結する、１～３階の受付ゾーン、福祉ゾーン、市民ゾーンの配置を主に考えた。

■駐車場から雨に濡れずに建物に入れるように、屋根付きの通路を設置。

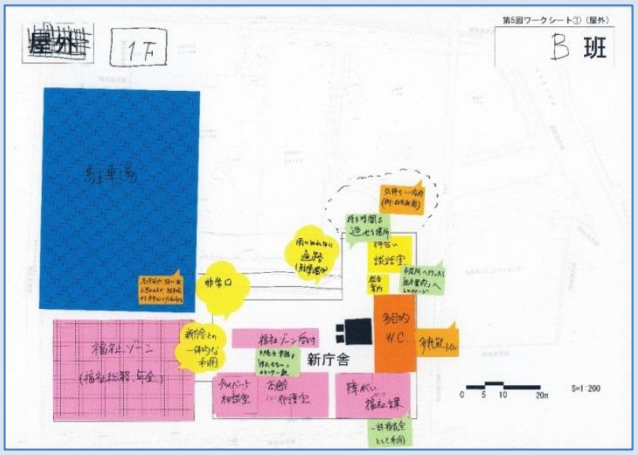
■来庁者がどこへ行けば目的の手続きができるのかがすぐにわかるように、受付の機能を強化。

■自分で検索できるパソコンなどの設備も受付に設置。

■１階の福祉ゾーンは待合場所を広く取り、障がい福祉課や高齢介護室等は個別の相談室を設けてプライバシーに配慮する。

■各フロアの配置については、どこに行けばよいかがわかりやすくなるように考えた。

■各フロアに銀行の入口にいるようなフロアマネージャーを配置し、目的の窓口の場所や書類の書き方などを案内できるとよい。

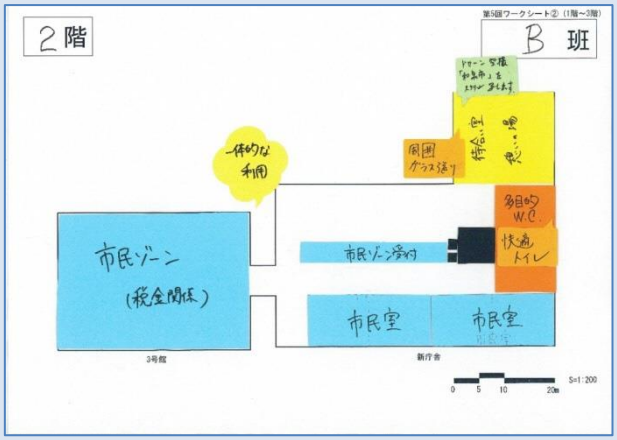


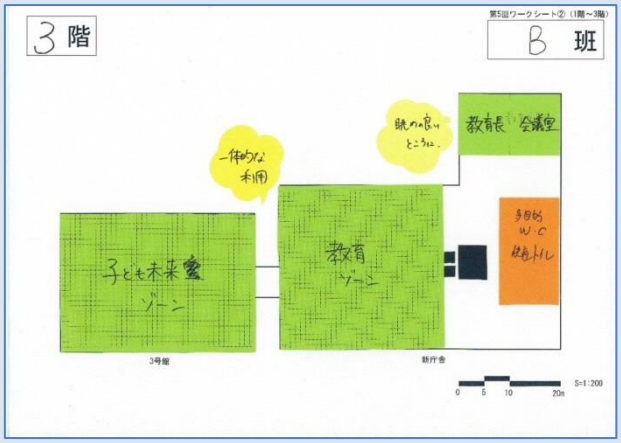
２階

■２階には市民室や税務室など、市民生活に直結する部署を置く。

３階

■３階には教育委員会やこども未来室等を配置し、こどもや教育に関することは何でも相談できるようにする。



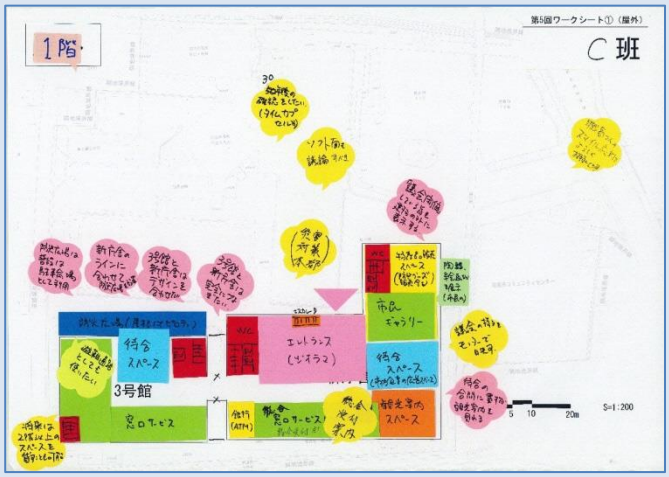


C班

コンセプト「活力と賑わいをあふれるスマイル新庁舎」

１階

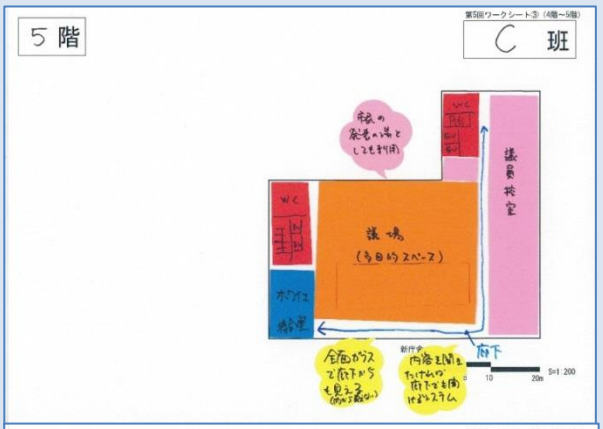
■非常時は停電でエレベーター等が動かなくなる可能性もあるので、１階が機能するよう設備や物を固定せず、非常時には取り払って開放できるものが良い。



■新庁舎と３号館の１階に設ける待合スペースの周りには、市の特産品や防災グッズの販売スペース、市民ギャラリー、観光案内スペース等を置き、待っている間に閲覧や買い物ができるようにする。さらに、議会の様子をモニターで映して視聴できるようにする。

■総合受付や市民室など、人が頻繁に利用するところを入口の近くに配置する。

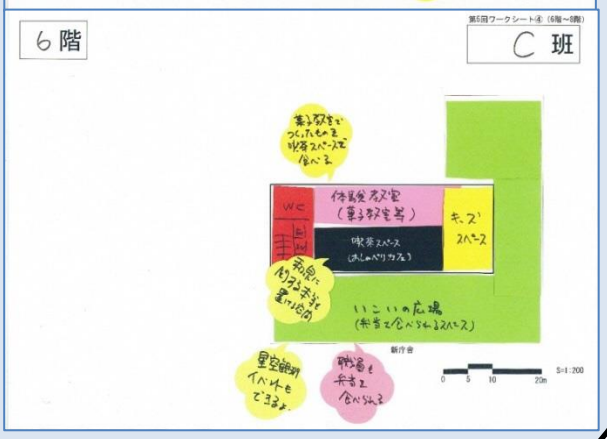
■総合受付では、耳が聞こえない人に紙に書いて案内する「耳マーク」を参考にしたり、外国人などいろいろな人への対応を総合受付で案内できるとよい。



５階

■５階には議場を置き、議会の様子を子ども等が見学できるように、ガラス張りにする。

■議会のない時は多目的な部屋として活用する。



６階

■６階は交流をテーマにしたフロアにする。

■喫茶スペース（おしゃべりカフェ）は、単に飲食をするだけでなく、市民が集って悩みを相談し合ったり、市の職員とも交流できるオープンなスペースとして活用し、体験教室ではお菓子教室や料理教室などを開催できるようにする。

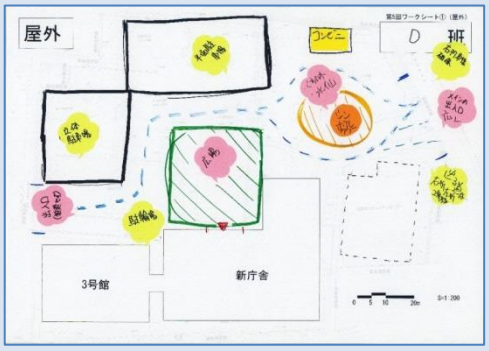
■キッズスペースは、屋内と屋外を跨いでつくる。

■憩いの広場はかなり広いスペースで、たとえば皆でお弁当を食べたり、星空観察などの市民向けのイベントを開いたりできるとよい。

D班

コンセプト「シンプルで使いやすく（スピーディ）」

屋外



■近隣の人が車か自転車で来庁することが多いだろうという前提で、駐車場と駐輪場の配置を考えた。

■計画に伴い府道 30 号線の右折専用車線を設けることで、右折車輌に起因する渋滞の解消を図る。

１階

■１階に総合窓口を設け、来庁者への窓口案内サポートを担う。

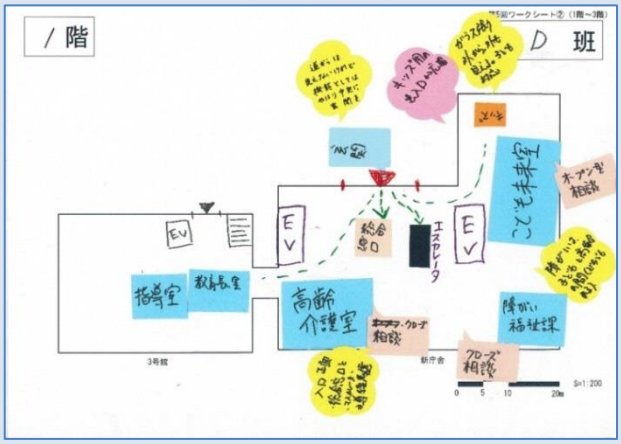
■高齢介護の相談、障がい福祉やこども未来室、教育委員会の関係を１階に配置・誘導する。

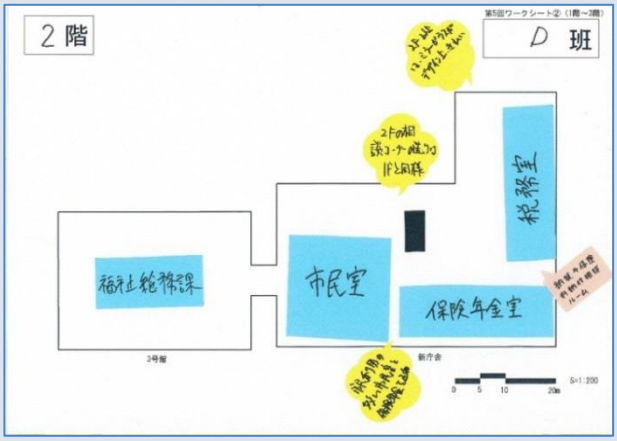
■1 階の奥まった所を子ども用のキッズエリアとしてガラス張りにして、子どものために庭に出ることができるような出入口を少し設ける。

■1,2 階それぞれに相談エリアを設け、オープンにして相談できるところと、クローズでプライバシーを保護しながら相談できるところを作る。

２階

■比較的元気な人や業者さんが来るような市民室、保険・年金、税務、福祉総務については２階に配置・誘導する。



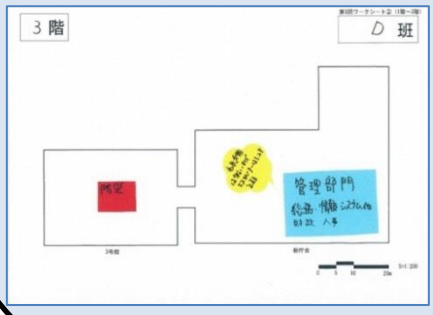


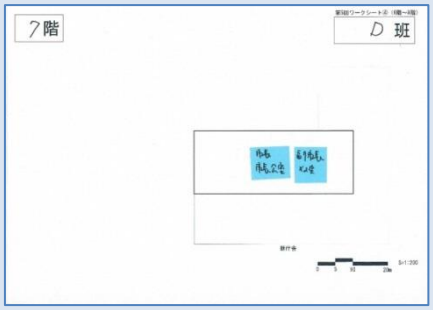
３階、７階、８階

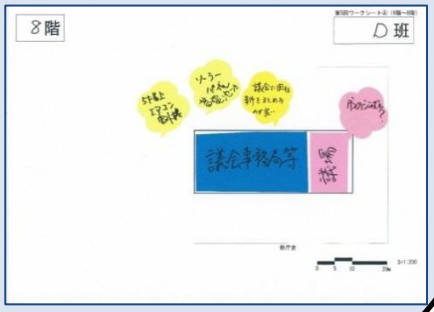
■３号館の３階に防災機能を置く。　■７階には市長等の部屋を配置。

■8 階に議会を入れる。議会スペースを若干広くするというのであれば、7 階の市長や副市長あるいは市長公室というエリアのところに、議会事務局の一部を移すというのも可能。

■ソーラーパネルなどを８階の屋上や５階に配置できるのではないか。







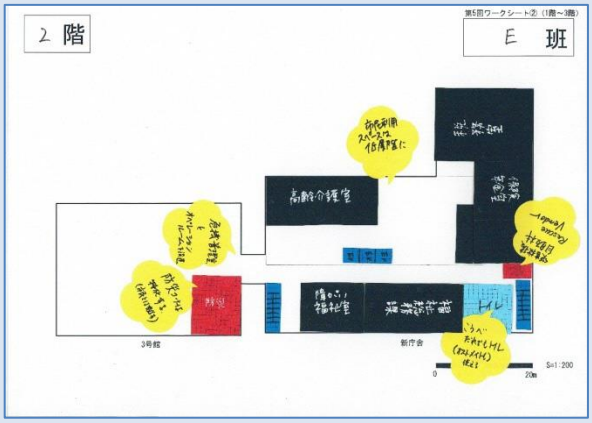
E班

コンセプト「利用しやすく対応しやすいシンプルな機能の庁舎、安心安全（防災面）、憩いの場」

1階

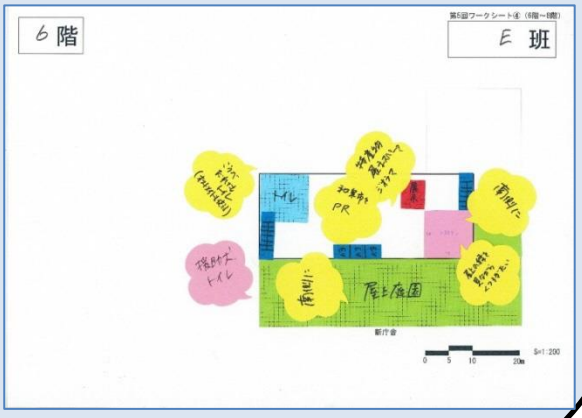
■総合案内所を設置し、盲導犬や介助犬は入っても OK という表示を出す。
■総合案内所でのタッチパネルによる施設案内・窓口誘導。
■1 階・2 階に高齢者や障がい者や子どもなどいろいろな人が多く来るところを、集中して配置した。1 階には市民室、こども未来室、指導室。
■こども未来室のところに短時間で良いので遊べるようなものを部屋の中に。
■市民室横にキッズコーナーを設ける。いちばん明るく、なおかつ入口もここにあり、大人の人もたくさんいるので、大人の目線もあり、安全。
■1 階フロアの一角に、少し一息つける、何かあればここで話ができるような、癒しコーナーとしてのカフェを設ける。その横に情報コーナーを作り、壁面やカフェも併せて、これを利用して文化財やいろいろなイベント、食材品、歴史がわかるようなスペースとする。

2階



■2 階に防災拠点。指揮本部も近くに配置する必要性から同階に配置。それに伴い情報収集や発信ができるいろいろな設備を備えるものに。
■1 階・2 階のいろいろなところに置く自動販売機は、電気が止まっても動く救助時自動販売機とする。

6階、屋上



■ 6 階の屋上を屋上庭園にして、ここにレストランを設置。
■ジオラマや和泉市を PR するようなものを配置。
■この場所は、いろいろなイベント広場に使用できるきれいな屋上庭園を望む。
■屋上階は、省エネの庁舎を目指し、太陽光発電を導入。